

□■受験対策ミニ講座 11号 2021□■（養成所ニュースプラス第17号）

立冬も過ぎ、朝晩だいぶ冷え込んできました。皆様風邪などひかれていませんか。新型コロナウイルス感染症の3回目のワクチン接種の方向性が決まりました。その前にインフルエンザ対策もお忘れなく。

今回は社会学を基盤とする「社会理論と社会システム」からの出題です。いつものように、選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかもあわせて考えてみましょう。

■Plus Quiz

【29回問題 20】社会的役割に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 役割適応とは、個人が他者との相互作用を通じて自我を内面化する過程である。
2. 役割期待とは、個人の行動パターンに対する他者の期待を指し、規範的な意味を持つ。
3. 役割演技とは、個人が様々な場面にふさわしい役割を無意識のうちに遂行することを意味する。
4. 役割葛藤とは、役割の内容が自分の主観と一致しないことによって生じる困難のことである。
5. 役割距離とは、個人の内部で異なる社会的役割が対立し、両立しない状態を指す。

答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

・(32期生) 11月1日(月)に修了に関する書類を発送しています。必ず確認し、もし書類の不足等がありましたらご連絡ください。また、書類が届かない場合にはご連絡ください。

住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。

・(33期生) 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ

11月1日(月)に支給申請書類一式を発送しています。届きましたら内容を確認し、11月中にご自身でハローワークに申請してください。印字内容が間違っている、ハローワークで受理されない等ありましたら早急にご連絡ください。

本養成所からの申請書類を発行するには、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」、「スクーリング代替授業の履修」、「授業料の納入」が必須となります。

・レポート評価票の課題及び課題番号の記入について、未記入や番号違いに注意してください。

また、必ずレポート評価票と原稿用紙はホチキスで留めてください。

・レポート評価票の科目と原稿用紙の科目の付け間違いに注意してください。

受付できない場合があります。

・レポート提出は、郵便事故や封筒の破損を避けるため、極力、郵便局窓口からの提出を推奨しています。

また、必ずコピー(控え)をとってください。

・参考文献及び引用文献の記入について、文献(URL)名のみ等、情報が不足しているレポートが散見されます。

受講の手引き P18-19の「(3)文章作法とルール」や、P22-24の「(5)参考文献・引用文献の表記方法」を確認のうえ必要事項をすべて記入してください。

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

・第34回国家試験の試験日は、令和4年2月6日(日)です。

試験概要はこちら→<http://www.sssc.or.jp/shakai/gaiyou.html>

・中央法規より「2021年度社会福祉士国家試験中央法規全国模試(在宅受験)」のご案内です。

詳しくはこちら→<https://www.chuohoki.co.jp/seminar/social/2969438.html>

・本養成所主催の「受験対策講座」をwebにて開催しております。

令和3年10月15日(金)に、第32・33期生の皆様にご案内を発送しています。受験対策ガイダンス動画、オンデマンド動画(全19科目)の視聴が可能です。是非ご活用ください。

受験対策講座ページへのアクセスはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=5529

■Plus Info

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【Plus Quiz 答と解説】

一心理学も社会学も個人の行為を扱う学問であるが、社会学の特色は、行為を社会あるいは他者との関係性という視点から意味づけようとするところにある。一見すると無秩序に思える個人の行動でも、社会的な見方を習得することで、これまでとは異なる姿としてとらえることが可能になる。—「社会理論と社会システム」のテキスト第3章「人と社会の関係」の扉には、このように書かれています。

出題基準の大項目3「人と社会の関係」の社会的行為、社会的役割、社会的ジレンマもその社会的な見方です。解説の具体例も参考にしながら理解を進めましょう。

国家試験では、特にこの3項目は頻出で、過去5年で10問が出題されています。確実に理解することで、概念説明をしている選択肢から正しいものを選ぶ出題（29回、25回）にも、概念説明に当てはまる選択肢を選ぶ問題（33回や30回）にも対応できるようになります。

1. ×「役割適応」は、自我を内面化する過程ではありません。人々が社会システム内で与えられた役割や社会システムが求める役割期待を遂行できているのか否かを分析するための概念で、行為者が他者あるいは社会システムからの役割期待に応じている状態です。この選択肢は「役割取得」の説明になります。

2. ○「役割期待」はある個人に対して、他者や社会システムから担うように期待されている役割のことです。

3. ×「役割演技」は意図的に行うものです。社会生活で場面ごとに求められる役割期待を本人が理解し、かつ即興的、自発的に演じていくことを意味します。例えば、宝くじが当たったのではしゃぎたいが、会議の場面では真面目な態度で臨んでいるという状況をさします。

4. ×「役割葛藤」の説明としては不十分です。同時に課された役割期待が、相互に矛盾や対立する場合に生じるジレンマ状態をいいます。例えば、子どもが放課後に母親からは学習塾に通うよう言われ、父親からは友達と遊ぶように言われ板挟みになっているような状況をさします。

5. ×選択肢は「役割葛藤」の説明になります。「役割距離」は、ゴッフマンが提唱した概念で、「他者の期待や社会の規範から少しずらしたことを行うことを通じて、自己の存在を他者に表現する概念」（33回19）です。例えば、手術の執刀に臨む医師は、手術中は真面目な医師でなければならないという他者の期待の中で、時々冗談を言うことで極度の緊張により自信を見失わないようにしているような状況をさします。

※他にも「役割分化」が33回19、30回19、25回20で出題されています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus